

kyndryl.

ITの展開と ビジネス変革を 迅速化

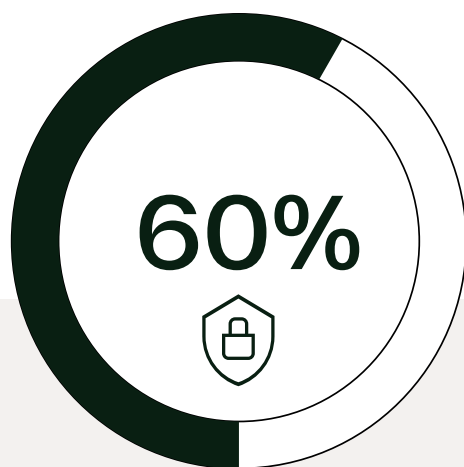
キンドリルとCiscoのアライアンスソリューションで
ビジネス変革を強力に推し進めます

次なるクラウド化のトレンドを見据えて、5G対応のエッジと
SDN（Software-Defined Networking）ソリューションの準備はできていますか？



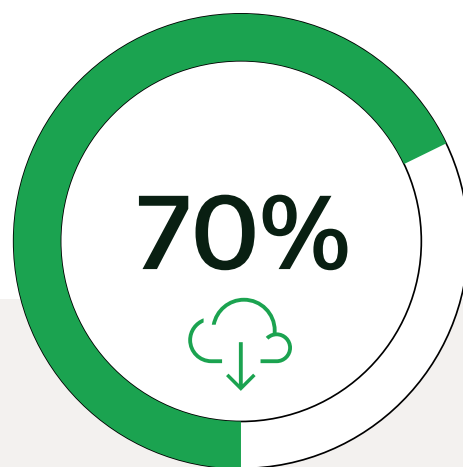
2024年までにレガシーアプリケーションの65%は、何らかの形でモダナイゼーションに向けた投資がなされる

既存レガシーアプリケーションの65%は、クラウドサービスを使った機能拡張や非効率なコードの置き換えが実施されることでしょう。



2025年までに企業の60%が、専用のクラウドサービスを導入する

企業の60%は、パフォーマンス、セキュリティ、およびコンプライアンスの要件に対応するために、オンプレミスまたはサービスプロバイダーのデータセンターに専用のクラウドサービスを導入することでしょう。



2026年までにCIO（最高情報責任者）の70%が、クラウドプロバイダーや通信事業者といったパートナーに対して、安全にクラウド・ツー・エッジ接続のソリューション提供を求める

クラウド・ツー・エッジ接続のソリューションは、データ収集において高いパフォーマンス性を発揮し、一貫性を保ち続けます。

企業のIT部門は、
専門のサービスプロバイダーや
インテグレーターに、
プライベート5G、
エッジソリューション、
マルチクラウド統合に関する
支援を求めるようになるでしょう

キンドリルは、Ciscoのテクノロジーを
活用し、オンプレミスまたはプライベート
クラウドやパブリッククラウドにおける
ワークロードを管理、サポートします。

キンドリルは、Ciscoテクノロジーのマネージド・サービス・プロバイダーとして
最大規模を誇っています。

キンドリルが提供するジョイント・イノベーション・ラボ（JIL）は、
API開発、アーキテクチャ検証、SD-WAN、SDNにおけるイノベーションをサポート可能です。

※1 Infrastructure-as-Code：コードを利用したインフラ管理とプロビジョニング

※2 Software-Defined Wide Area Network：ソフトウェア定義の広域ネットワーク（WAN）

※3 キャリアニュートラル：通信事業者の制約を受けないこと

※4 ソーシャルエンジニアリング：情報通信技術を使用せず、人間の心理的な隙や、人的ミスにつけ込んで重要情報を盗み出す手法

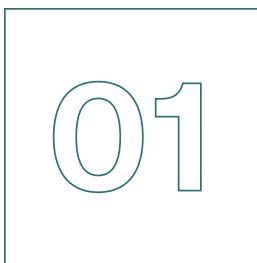
キンドリルとCiscoのアライアンスソリューションは、お客様の要望にコミットし、信頼関係の構築を目指しています。

キンドリルの担当者との相談をご希望の方、もしくはキンドリルとCiscoのアライアンス
ソリューションについて詳しく知りたい方は、[kyndryl.com](https://www.kyndryl.com) をご覧ください。

© Copyright Kyndryl Inc. 2022. 無断転載を禁じます。

本資料は、最初の発行日の時点で最新であり、キンドリルによって随時通知なしに変更される場合があります。すべての製品およびサービスが、キンドリルが事業を行っているすべての国において利用できるわけではありません。
キンドリルの製品およびサービスは、それらが提供される際に適用される契約条件に基づいて保証されます。

記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は、特定の構成や稼働条件によって異なります。キンドリルの製品およびサービスは、それらが提供される際に適用される契約条件に基づいて保証されます。



マルチクラウド管理サービス

Amazon Web Services（AWS）、Microsoft Azure、
Google Cloud Platform（GCP）など、主要なパブリッククラウドから選択可能

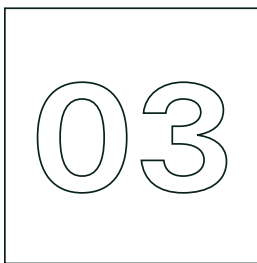
- ハイブリッドクラウドでサービスとワークロードを接続
- プライベートクラウドでITインフラを最適化および自動化
- オンプレミス、プライベートクラウド、パブリッククラウドにまたがるワークロードを管理



ITとアプリケーションのモダナイゼーション

laC^(※1)、クラウドベース・アプリケーション、コンテナアプローチを活用

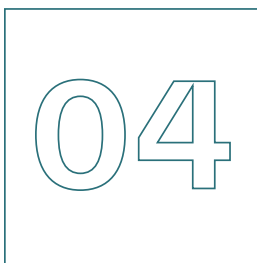
- ストレージ接続により、オンプレミスのデータパフォーマンスを最大化
- アプリケーションインサイトの活用により、ユーザー体験（UX）を最適化
- 最も効率的な場所でアプリケーションとインフラを実現



ネットワークとエッジのイノベーション

時間や場所、接続方法を問わず、ユーザーからネットワークアクセスに対する
信頼性とスピードを向上させる

- SD-WAN^(※2)でWAN接続を最適化して、ネットワークパフォーマンスの簡素化、自動化、及び向上を実現
- インフラ強化により、SaaSの利便性を向上させ、ハイブリッドワークを推進
- SDNとエッジサービスを提供し、ソフトウェアプログラムによって高度に制御されたネットワークでコア・ツー・エッジのキャリアニュートラル^(※3)なソリューションを構築



セキュリティとレジリエンシーを向上

“何も信頼せず”すべてのアクセスを検証する
「ゼロトラスト」なセキュリティフレームワークでデータと接続の安全性を担保

- 信頼できるデバイスとひとだけがネットワークに存在することを確認
- 可視化、自動化により、ITインフラの安全性を確保し、リスクを軽減
- システムへの侵入、ハッキング、ソーシャルエンジニアリング^(※4)のリスクを最小化